

Risk Bites

リスク管理に特化した話題を日本語でお届けします

中国 & 香港
リスクアシュアランス

Issue No.9

ソーシャルメディア・リスクの管理は適切なソーシャルメディア・ガバナンスから

賀 琪偉 *Jennifer Ho* (華南地区リスクアシュアランス・リーダー)

ソーシャルメディアの爆発的な普及が人々のコミュニケーションスタイルに大変革をもたらしているなか、ソーシャルメディアの管理は企業が直面する非常に困難な課題です。中小企業からグローバル多国籍企業まで、全ての企業はソーシャルメディアに関連したリスクマネジメントやコンプライアンスについての再考を迫られています。従来のリスクマネジメント・プロセスでは、膨大なデータ、チャット、ブログへの対応が想定されていませんでした。

こちらからLinkedInにて英文記事全文をご確認いただけます。

『中国サイバーセキュリティ法』と『ネットワーク製品及びサービス安全審査弁法』

張 俊賢 *CY Cheung* (リスクアシュアランス部門サイバーセキュリティ/フィンテック・パートナー)

中国国家サイバー管理局(CAC)より2017年5月2日に『ネットワーク製品及びサービス安全審査弁法(試行)』が公表され、ネットワーク製品及びサービスの安全審査の詳細が示されました。当該審査は、ネットワーク製品やサービスの提供者のみならず、国家安全に関わる可能性のあるネットワーク製品及びサービスを購入する重要情報インフラ運営者(CIIO)にも大きな影響を与えます。当該弁法及び『中国サイバーセキュリティ法』(CSL)はいずれも2017年6月1日より施行されています。

こちらからLinkedInにて英文記事全文をご確認いただけます。

監査人は如何にしてビッグデータを活用し、中国におけるバリュープロポジション(顧客提供価値)を高めることができるか？

徐 世達 *Jasper Xu* (リスクアシュアランス部門内部監査サービス・リードパートナー)

絶え間なく変化を続ける環境において「機動的な内部監査機能」を保つ上で鍵となる二つの要素は、先見力と適応力であることがPwCの内部監査業界の現況調査において明らかになりました。「機動的な内部監査機能」とは、起こりつつある変革とそれに伴うビジネスのニーズを先見性をもって識別できる内部監査機能を言い、他のディフェンスラインと緊密に連携し、組織内の他部門と協力して意思決定を行います。PwCの調査では、「機動的な内部監査機能」の47%が、今後起こる変革のトレンド及び影響を継続的にモニタリングするために、データ・マイニング及びデータ分析の活用を強化していることが分かりました。一方、一般的な内部監査機能における当該比率は35%でした。内部監査におけるデータ分析活用例をご紹介します。

こちらからLinkedInにて英文記事全文をご確認いただけます。

